

# Future

先日の学習発表会、そして学年懇談会にご参加くださりありがとうございました。今後も授業の見学にお越しいただいたり、探究の授業に参加いただいたり、またお気づきの点やご不明点等ありましたらいつでもご連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## プロジェクト ~西部浄化センター見学~

6/16（木）の午前中に、瀬戸市内にある下水処理場の西部浄化センターに見学に行きました。ご連絡していた通り、当初予定していた6/15（水）に行く事ができれば、3日間体験授業に来ていた女の子も一緒に行くことができましたが、残念ながら雨天延期のため16日となり、15日の朝は子どもたちもショックを隠せない様子でした。

事前学習で「下水」について考え、食器を洗ったりお風呂に入って流したりした水はもちろんのこと、トイレの後に流した水がどうやって川や海に流せるほどまで綺麗になるのか。本当に臭いはなくなるのかが子どもたちは不思議でしょうがなく、また「微生物を使っている」ということというのも大きな関心でした。

見学は前回の浄水場同様、ビデオの視聴から始まりました。前回と違ったのはメモを取る子どもたちの姿でした。浄水場見学の前後で「メモの取り方」の学習を進めてきましたが、今回の下水処理場の見学では、箇条書きで書くことや、浄水場のことや事前学習で調べた下水処理の工程の名前といった「既知っている」はあえてメモしないこと、また終わってから見やすいように「見出しをつける」といった工夫をしている子がたくさんいました。情報の授業で学んだメモの取り方のスキルが向上していることを感じました。

実際に施設内を見学すると、中央監視室の機械に興味津々になったり、処理施設をしっかりと見学しながらも予想通り下水の臭いに苦しめられたりと、実際に来てみて初めて分かることがたくさんありました。それぞれの工程で処理される水のサンプルの見ながら徐々に水が綺麗になっていく様子や、臭いがなくなっていくことがとてもよく分かる一方で、浄水場同様これだけ重要な仕事がたった十数人で行われていることもわかり、改めてありがたみを感じている子がたくさんいました。

学校に戻ってからお子さまが書いたふりかえりとともに、学習の記録としてワークシートやメモもアップされていますので、お時間おありの時に是非まなポートをご覧ください。

## 保健体育 ~心の成長~

6月に入り、心と体の成長について体育担当の鈴木先生に加え、時には養護教諭の田中先生も入って4回保健体育の授業を実施してきました。それを受け、先日の学習発表会では、4回の授業で学んだことを親子で整理しながら、成長による変化にどう対応すればいいかについて考えました。

今回の単元を実施するの中で、子どもたちの関心はもちろん、私たち教員や参加いただいた保護者の皆様の意識は、どうしても「体の成長」にいてしまいがちだったように感じます。精通や初経について考え、それにどう対処すべきか、また子どもたちの質問にどうやって、またどこまで答えるかについては、どの授業でも実施した後に時間をかけてふりかえり、次の授業の計画を練ってきました。保護者の方からも、「子どもと考える事ができてよかった」「家庭で話題にするきっかけになって助かる」といったお言葉をいただき、改めて授業を行なってよかったと感じました。

クォーター最終日には、改めて「心の成長」についてもより考えてもらいたいと思い、私の方から学校で使っている百科事典のポプラディアに書かれている「思春期・反抗期」をキーワードに、授業を行いました。個人差はあるものの、小学校高学年で始まるとされる「思春期」に自分たちが入っていることを知り、以前はそれほど気にならなかったものの、最近は親から言われることに素直に聞けなくなっていることに振り返りながら授業を進めていきました。「やろうとしていたのに」「大人は許されるのに」「なんで兄・姉ってだけで自分」など、子どもたちが親から言われることから来る「言われる側の感情」を共有し合いました。親から言われる言葉に納得がいかず、つきつ言葉返してしまおうと打ち明ける子もいました。

次にクラス内での「言う側」と「言われる側」の感情についても考えました。助けたい、手伝ってあげたいという思いから「言う側」は声をかけるものの、時にはその声かけの言葉がきつくなったり、「なんで聞いてくれないの」という気持ちになってしまったりすること。自分ではやっている、何回も言われる、今したくないという思いから、反応がきつくなったり無視したりする「言われる側」の反応。どちらも大人に向けた成長段階である「思春期」からくる影響であることについて考え、個人差を受け入れることや、声かけや反応、行いの工夫の必要性について考えました。

今回の保健体育の単元や最終日の一回の授業で何かが大きく変わるわけではないですが、少なくとも親子やクラスで考える重要なきっかけになったと思います。第2クォーターを含め今後も定期的に子どもたちと「心と体の成長」について考え話し合っていきたいと思います。